

別冊

福祉生活病院常任委員会資料

(令和2年5月21日)

〔件名〕

- 1 生活衛生関係の事業継続に係る新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン
について

(くらしの安心推進課)・・・1

生活環境部



生活衛生関係の事業継続に係る新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインについて

令和2年5月21日

くらしの安心推進課

新型コロナウイルス対応ガイドラインが業界別に示されたことから、この度、生活衛生事業者との意見交換会を実施し、その結果等を踏まえ、先行して飲食店、宿泊施設の2業種について鳥取県版の感染拡大予防対策例を作成したので、その概要について報告する。

1 生活衛生関係の事業継続に係る意見交換会

(1) 日時 令和2年5月18日(月) 11時30分～12時10分

(2) 場所 鳥取県庁 災害対策本部室

(3) 出席者

旅館ホテル生活衛生同業組合	専務理事	小谷	文夫
飲食生活衛生同業組合	理事長	宍道	榮一郎
〃	女性部長	宍道	真理子
公衆浴場業生活衛生同業組合	理事長	松本	正嗣
理容生活衛生同業組合	副理事長	中澤	信博
美容業生活衛生同業組合	理事長	正田	眞弓
クリーニング生活衛生同業組合	理事長	鴨河	猛志
(公財) 鳥取県生活衛生営業指導センター	事務局長	小畑	正一
(一社) 鳥取県食品衛生協会	理事	佐藤	義彦
鳥取大学医学部	教授	景山	誠二(アドバイザー)

県(知事ほか3名)

(4) 主な意見

- 小規模店が多く、2m以上の間隔を空けるのが難しい。客同士の仕切りなどガイドラインに対応した改装費が重荷になる。(飲食店)
- 通路や階段、喫煙所の換気も必要となり、換気扇フィルターの定期的なクリーニングについても明記してほしい。(宿泊施設)
- 大型温泉施設と銭湯の区別がつかない人が多く、違いを周知徹底してほしい。(公衆浴場)
- 出張理容に対する県版対策例の策定、周知を非組合員にも徹底してほしい。(理・美容業)
- 検品は客側をお願いしたい。(クリーニング業)

2 県版感染拡大予防対策例の概要

- 営業者が実施するサービス等の場面ごとに感染拡大予防対策例を示し、「3密(密閉空間、密集した場所、密接した会話)」を防ぐ方法、咳エチケット及び手指衛生を組み合わせるものとする。
- 全国版のガイドラインと鳥取県版感染拡大予防対策例の違いは主に以下の2点であり、小規模店舗でも運用できる内容とした。
 - ・全国版では大規模店舗向けの例示が多いため、県版では小規模店舗で対応できる例示を示した。
 - ・フィジカルディスタンスの確保について、家族等の日常から接している同一グループであれば緩和する記載とした。

3 主な感染拡大予防対策の例

事業者の事業規模、営業実態に照らし合わせて、できることから実践する。

(1) 営業準備の場面

- ・従業員の体調管理、風邪症状のある者の従事制限
- ・宿泊施設のフロント、飲食店のレジといった場所にはアクリル板やビニールカーテンの設置
- ・ドアノブや手すりといった一般的なもののほか、飲食店であればメニュー表、宿泊施設であればエレベーターや自動販売機のボタンといった人が触れる機会の多い場所の拭き取り清掃・消毒の実施

(2) 来客受付の場面

- ・マスクの着用等の咳エチケットの実施
- ・受付時の混雑緩和策の実施（間隔をあけて待機してもらう等）
- ・飲食店においては、グループ間の席を離して案内する等、フィジカルディスタンスを確保

(3) 調理の場面

- ・厨房内の換気、マスクの着用の実施
- ・利用者が触れる食器は十分に洗浄

(4) 食事提供の場面

- ・客席の定期的な換気の実施
- ・横並びに座ってもらうなどフィジカルディスタンスを確保
- ・大皿による提供を避ける、食器は注文後に提供する等、利用者の密接を防止

(5) 食事後の片づけ

- ・テーブル、メニュー表、呼び出しボタン等の利用者が触れる部分のこまめな拭き取り清掃・消毒
- ・作業後の手洗い、手指消毒の徹底

(6) 入浴（大浴場）の場面（宿泊施設のみ）

- ・浴室内の混雑を避けるよう、従業員の声掛け、利用者の自主的な混雑回避を掲示
- ・浴室内で大声での会話は避けるよう掲示
- ・ドライヤー、体重計等のこまめな拭き取り清掃・消毒

(7) 会計、チェックアウト

- ・電子決済の活用、宿泊施設であればチェックアウト手続きの簡略化

(8) その他

- ・洋式トイレは蓋を閉めて汚物を流す
- ・ハンドドライヤーの使用を控え、ペーパータオルを使用
- ・ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用

飲食店における 事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

令和2年5月21日
鳥取県くらしの安心推進課

新型コロナウイルスに感染しないように営業を継続するため、HACCPに基づく衛生管理と同様に、飲食店が実施するサービス等の場面ごとに発生するおそれがある密閉・密集・密接の感染リスクをあらかじめ分析し、対策例を整理しました。

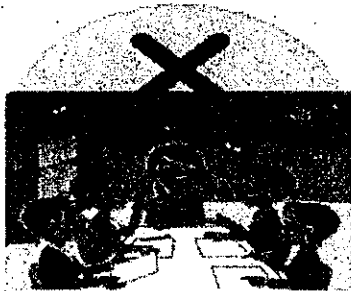
皆さんの施設の状況や実情に合わせて実践してください。

※ この対策例は5月21日時点で作成したものであり、最新の情報に基づき適宜更新していきます。

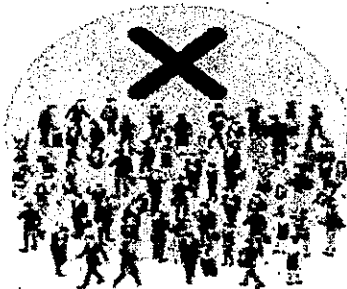
予防方法

■3つの「密(密閉空間・密集した場所・密接した会話)」がそろう場所を避けましょう。
3つの条件が揃う場所でクラスター(集団)発生のリスクが高まります。できるだけ、3つの条件を避けるなど、感染予防にこころがけましょう。

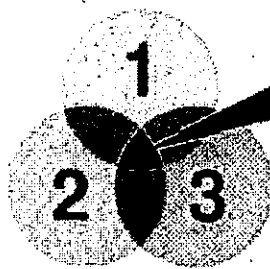
①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、共同で使う物品には
消毒などを行ってください。

■手洗いをしましょう。

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などに、こまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

手洗い方法は裏面を参照ください。

■咳エチケットをこころがけましょう。

咳やくしゃみが出るときは、ハンカチや袖などで鼻と口を覆ったり、マスクを着用するなどの咳エチケットを心がけましょう。

咳エチケットの方法や正しいマスクの着用方法は裏面を参照ください。

店舗の営業場面ごとの感染拡大予防対策

1 開店準備

- ・従業員に出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状がある従業員は自宅待機させましょう。
 - ▶従業員の体調不良を事前に把握することが重要です。体温測定は必須ではありません。
- ・感染した従業員や濃厚接触者と判断された従業員の就業は禁止しましょう。
- ・開店に備えて網戸のある窓を開けるなど客席及び厨房の十分な換気をしましょう。
 - ▶空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は厨房の換気扇、扇風機なども活用しましょう。
- ・客席を離すなどフィジカルディスタンスを確保できる配席にしましょう。また、対面席を使用する場合はアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
 - ▶飛沫感染を防止することが重要です。アクリル板等で遮蔽したうえで同一方向に座っていただくことも有効です。
 - ▶社会に広げないことが重要です。家族等の単一グループにあっては必須ではありません。
- ・食材の搬入、従業員の出入りやお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
 - ▶従業員を感染リスクから守ることも重要です。厨房裏口等を活用しましょう。
- ・テーブル、椅子の背もたれ、トイレのドアノブ、メニュー表、呼び出しボタン等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- ・従業員は来客用のトイレの使用を控えましょう。
 - ▶接触の機会を減らすことが重要です。お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょう。
- ・従業員やその家族の誤解を招かないように日頃からの確かな情報の共有に努めましょう。

2 来店（予約受付）

- ・出前やテイクアウトのサービスも活用しましょう。
- ・フィジカルディスタンスを確保できるよう施設規模に応じた予約制を取り入れましょう。
 - ▶社会に広げないことが重要です。家族等の単一グループにあってはフィジカルディスタンスの確保は必須ではありません。
- ・施設外で来店待ちのお客様が密集しないよう間隔をあけて並んでいただいたり、整理券発行による呼び出しとするなどの対応をしましょう。
- ・発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来店いただかないよう呼びかけたり、掲示を行いましょう。
- ・お客様に、食事中以外はマスクの着用を呼びかけたり掲示を行いましょう。
- ・お客様に、来店時に施設内での手指の洗浄や消毒を呼びかけましょう。
 - ▶正しい手洗いが重要です。アルコール消毒は必須ではありません。
- ・お客様に、会話は控えめにしてくださいよう呼びかけましょう。

3 席案内・注文受付

- ・開店後は網戸のある窓を2か所同時に開けるなど客席の換気をしましょう。
 - ▶空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は厨房の換気扇、扇風機なども活用しましょう。
- ・他のグループのお客様同士が対面とならないよう、フィジカルディスタンスを確保できる席に案内し、フィジカルディスタンスをとれない場合は、ついたて板等で遮蔽しましょう。
 - ▶社会に広げないことが重要です。家族等の単一グループにあっては必須ではありません。
- ・カウンター席に案内する場合は密着しないように適度なスペースを空けましょう。
 - ▶飛沫感染を防止することが重要です。フィジカルディスタンスにかわりアクリル板等で遮蔽することも有効です。
- ・接客時にはマスクを着用するなど咳エチケットを実践するとともに、カウンターでも真正面とならないようにするなど、お客様と可能な範囲でフィジカルディスタンスを保ちましょう。
 - ▶飛沫感染を防止することが重要です。お客様と従業員がともに咳エチケットを実践していればフィジカルディスタンスの確保は必須ではありません。

4 調理

- ・厨房は換気扇や網戸のある窓を開けるなど定期的に換気しましょう。
- ・厨房内で従業員が密集せず、事業継続できるシフトを決めましょう。
 - ▶小人数の事業者においては咳エチケットの実施により感染を防ぎましょう。
- ・従業員同士であってもマスクを着用するなど咳エチケットを実践しましょう。
- ・調理中はこれまで以上に手洗いを励行しましょう。

- ・ お客様の手や口が触れるコップや箸などの容器器具は適切に洗浄・消毒しましょう。
 - ・ 個人用にタオルを準備するなど、従業員同士でのタオルや調理器具の共有を避けましょう。
- 5 食事の提供
- ・ 接客時にはマスクを着用するなど咳エチケットを実践しましょう。
 - ・ 箸や取り皿も注文後に提供し、他のお客様が触れられないようにしましょう。
 - ・ ビュッフェ方式や大皿での料理提供は避けて、個々に料理を提供しましょう。
 - ▶ ビュッフェ形式による提供をされる場合は、従業員が取り分ける、あらかじめ小皿に盛り付けて提供するなどの対策を取りましょう。また、社会に広げないことが重要です。大皿での提供は、家族等の単一グループにあっては柔軟に対応しましょう。
- 6 食事
- ・ 客席は、網戸のある窓を2か所同時に開けるなど常時換気しましょう。
 - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は厨房の換気扇、扇風機なども活用しましょう。
 - ・ 横並びに座っていただくなど、フィジカルディスタンスを確保できる配席を呼びかけましょう。
 - ▶ 飛沫感染を防止することが重要です。フィジカルディスタンスにかわりアクリル板等で遮蔽することも有効です。
 - ・ 下膳と同時に新しい料理を提供しないようにしましょう。
 - ・ お客様同士のお酌やグラスの回し飲みは避けるよう呼びかけましょう。
- 7 会計
- ・ 会計待ちでお客様が密集しないようレジ前に立ち位置を示したり、席会計に取り組みましょう。
 - ・ テイクアウトの場合、施設外でお客様が密集しないよう間隔をあけて並んでいただいたり、呼び出し対応としたりしましょう。
 - ・ レジで会計を行う場合は、直接の対面を避けるためにアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
 - ▶ 飛沫感染を防止することが重要です。お客様と従業員がともに咳エチケットを実践していれば遮蔽対策は必須ではありません。
 - ・ 電子決済を活用しましょう。現金等を扱う場合は手渡しを避け、トレイに置いて受け渡しましょう。
- 8 下膳
- ・ テーブルの清掃にあわせて、椅子の背もたれ、メニュー表、呼び出しボタン等のお客様が触れる部分は、お客様が入れ替わる都度、入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
 - ▶ 接触感染を防止することが重要です。テーブルクロスを入れ替え等も有効です。
 - ・ 手すり、ドアノブ、券売機など多くのお客様が触れる部分は、定期的に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- 9 営業終了後の片付け
- ・ 明日の営業に備えて、網戸のある窓を2か所同時に開けるなど客席及び厨房の十分な換気をしましょう。
 - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は厨房の換気扇、扇風機なども活用しましょう。
 - ・ 店内清掃を徹底し、テーブル、椅子の背もたれ、トイレのドアノブ、メニュー表、呼び出しボタン等のお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
 - ・ 白衣等の作業着はこまめに洗濯しましょう。
 - ・ ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用しましょう。マスクや手袋を外した後は必ず手を洗いましょう。
- 10 店舗の管理
- ・ 換気設備を定期的に点検しましょう。
 - ・ 洋式トイレでは蓋を閉めて汚物を流すよう呼びかけましょう。
 - ・ ハンドドライヤーの使用は控えて、ペーパータオルを活用しましょう。
 - ・ ゴミは蓋つきのごみ箱に入れて密閉しましょう。
 - ・ 従業員の控え室等も換気や拭き取り清掃・消毒を徹底しましょう。

正しい手洗い・マスクの着用方法

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスク着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

①



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

②



手の甲をのぼすようにこすります。

③



指先・爪の間を念入りにこすります。

④



指の間を洗います。

⑤



親指と手のひらをねじり洗います。

⑥



手首も忘れずに洗います。

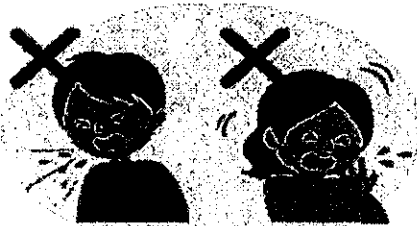
ポイント

- ・手洗いの前に爪は短く切って、時計や指輪は外しておきましょう。
- ・30秒間かけて手を洗いましょう。
- ・石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なペーパータオルでよく拭き取って乾かしましょう。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や駅、学校など人が集まるところでやる



何もせずに咳やくしゃみをす

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



① 鼻と口の両方を確実に覆う



② ゴムひもを耳にかける



③ 隙間がないよう鼻まで覆う

<参考> 消毒液の作り方(厚生労働省・経済産業省作成チラシから抜粋)

以下を参考に、市販の塩素系漂白剤(主成分が次亜塩素酸ナトリウムであるもの)を薄めてください。

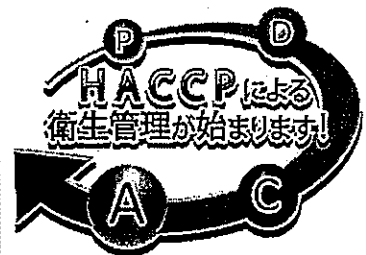
・ハイター、キッチンハイター(花王)

水1Lに25mL(商品付属のキャップ1杯)

・ブリーチ、キッチンブリーチ(ミツエイ)

水1Lに10mL(商品付属のキャップ1/2杯)

※商品によって濃度が異なりますので、商品パッケージやメーカーのHPの説明をご確認ください。



宿泊施設における 事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

令和2年5月21日
鳥取県くらしの安心推進課

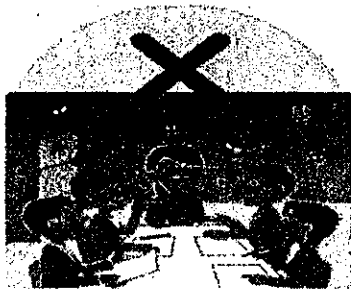
新型コロナウイルスの感染予防に努めながら営業を継続するため、宿泊施設が実施するサービス等の場面ごとに発生するおそれがある感染リスクへの対策例を整理しました。
皆さんの施設の状況や実情に合わせて実践してください。

※この対策例は5月21日時点で作成したものであり、最新の情報に基づき適宜更新していきます。

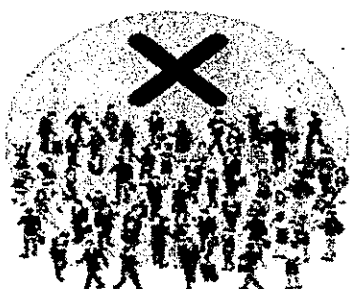
予防方法

■3つの「密(密閉空間・密集した場所・密接した会話)」がそろう場所を避けましょう。
3つの条件が揃う場所でクラスター(集団)発生のリスクが高まります。できるだけ、3つの条件を避けるなど、感染予防にこころがけましょう。

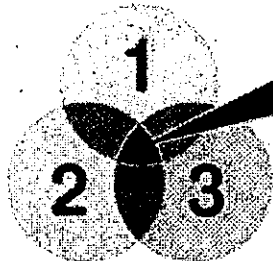
①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、共同で使う物品には
消毒などを行ってください。

■手洗いをしましょう。
外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などに、こまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。
手洗い方法は裏面を参照ください。

■咳エチケットをこころがけましょう。
咳やくしゃみが出る時は、ハンカチや袖などで鼻と口を覆ったり、マスクを着用するなどの咳エチケットを心がけましょう。
咳エチケットの方法や正しいマスクの着用方法は裏面を参照ください。

宿泊施設の営業場面ごとの感染拡大予防対策

1 従業員の体調管理

- ・従業員に出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状がある従業員は自宅待機させましょう。
 - ▶従業員の体調不良を事前に把握することが重要です。体温測定は必須ではありません。
- ・感染した従業員や濃厚接触者と判断された従業員の就業は禁止しましょう。

2 施設の管理・清掃

- ・ロビー等の共用エリアや客室は定期的に窓を開けるなど十分に換気をしましょう。
 - ▶窓がない場合は換気扇、扇風機なども活用しましょう。
 - 通路や階段等の外気が入りにくい場所は、常時換気しましょう。
 - 空調に外気導入する機能がある場合は、外気導入に設定しましょう。
 - 換気能力が落ちないように、換気扇や空調のフィルタを定期的にクリーニングしましょう。
- ・フロントには、宿泊者と従業員の直接の対面を避けるためにアクリル板や透明ビニールカーテンを設置しましょう。
 - ▶飛沫感染を防止することが重要です。宿泊者と従業員がともにマスクを着用するなど咳エチケットを実践していれば遮蔽対策は必須ではありません。
- ・ロビー等の共用エリアではマスクを着用するよう掲示しましょう。
- ・エレベータ内が過密状態にならないよう、複数グループが同乗しないようにするなど乗車人数を制限し、エレベータ内では会話を控えるよう掲示しましょう。
- ・共用洗面所のハンドドライヤーの使用は控えて、ペーパータオルを用意しましょう。
- ・フロントデスク、筆記用具、ロビーの家具、共用パソコン、エレベータのスイッチ、廊下や階段の手すり、ドアノブ、自動販売機のボタンや取り出し口、共用の履物、トイレ等の宿泊者が共用する部分は、定期的に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- ・喫煙室は使用時以外も常時換気し、吸い殻交換とテーブル清拭を頻繁に行いましょう。

3 接客

- ・接客時にはマスクを着用するなど咳エチケットを実践しましょう。
 - ▶宿泊者へは、マスク着用での接客に御理解いただくよう伝えましょう。
- ・こまめな手洗い又は手指消毒といった手指衛生を徹底しましょう。
- ・直接対面で接客するときは、可能な範囲でフィジカルディスタンスを確保しましょう。

4 フロント業務

- ・フロントで手続き待ちの宿泊者が密集しないようにしましょう。
 - ▶間隔を空けて並んでいただいたり、分散して待機していただき呼び出し対応をしたり、客室等複数箇所で手続きを行うなど工夫しましょう。
- ・長時間の対面を避けるため、オンライン決済の活用などフロントでの手続きを工夫しましょう。
- ・出入口及びロビー内に手指の消毒設備を設置し、宿泊者に入館時の手指消毒を依頼しましょう。
- ・チェックインの際は、検温や健康チェックリストによって宿泊者の体調を確認し、発熱や咳等の体調の異変が生じた場合は速やかに申し出るよう伝えましょう。
- ・館内・客室の案内は、従業員による説明ではなく、文書や動画を用意しましょう。
 - ▶用意できない場合は、フィジカルディスタンスを確保して説明しましょう。
- ・団体旅行者を受け入れる場合は、代表者がまとめて手続きを行い、他の宿泊者は分散して待機するよう要請しましょう。
- ・返却されたルームキー・キーカードは消毒しましょう。

5 食事提供

- ・レストラン等で食事を提供する場合は、「飲食店における事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。
- ・宴会・会食等の団体での食事の場合、お酌や盃の回し飲みは控えるよう要請し、鍋料理や刺身盛り等は一人鍋、一人盛りにしましょう。
 - ▶大鍋や大皿で料理を提供する場合は、従業員が取り分けるか、お客様の中で取り分け役を決めて、トング、取り箸等を使い回さないようにしましょう。
- ・客室で食事を提供する場合は、できるだけ一度に料理を提供して従業員の入室回数を減らし、客室入室後は手指消毒してから料理を並べましょう。
- ・ビュッフェ方式はセットメニューでの提供に代えることを検討しましょう。
 - ▶ビュッフェ方式で食事を提供する場合は、料理を小皿に盛って提供する、スタッフが料理を取り分けるなどの対策をとりましょう。
- ・下膳作業を行った従業員は手指消毒をしましょう。

6 入浴（大浴場）

- ・浴場や脱衣所は定期的に窓を開けたり、換気扇を常時使用するなど十分な換気を行いましょ。
- ・浴室入口に、混雑時の利用を控えるよう貼り紙をしたり、従業員から声かけを行うなど、同一浴室内に一度に多人数が入室することのないようにしましょう。
- ・浴室内ではフィジカルディスタンスを確保し、会話は控えるよう注意書きを掲示しましょう。
- ・浴室内の備品（ドライヤー、ソファ、マッサージ機、体重計等）はこまめに清拭消毒し、使用者も使用の際に清拭消毒するよう貼り紙等で要請し、消毒用品を備え付けましょう。
- ・浴場での貸しタオルは中止し、客室から清潔なタオルを持参するよう要請しましょう。
- ・化粧品・ブラシ等は持参するよう要請しましょう。
 - ▶共用の化粧品を置く場合は、使用の際にボトル等の触れる部分を清拭消毒するよう要請し、消毒用品を備え付けましょう。
 - ▶ブラシを用意する場合は、使用者ごとに消毒済みのものを使用できるようにしましょう。

7 チェックアウト後の客室及び浴場清掃

- ・清掃は、窓を開けて十分に換気してから作業を開始しましょう。
- ・ドアノブ、スイッチ、リモコン、ハンガー、スタンド、電話機、ポット、洗面所のレバー、備え付けのアメニティ、館内用スリッパ、外出用の下駄、浴場のロッカー内部など、宿泊者がよく触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- ・清掃やリネン回収を行う従業員は、マスクや手袋を着用しましょう。

8 その他

- ・送迎車の運転席と後部座席をビニールシート等で仕切りましょう。
- ・洋式トイレでは蓋を閉めて汚物を流すよう呼びかけましょう。
- ・客室のゴミを回収し一時保管する場合は、ビニール袋に入れて密封保管しましょう。
- ・ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用しましょう。

正しい手洗い・マスクの着用方法

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスク着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

1



流水でよく手をぬらした後に、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

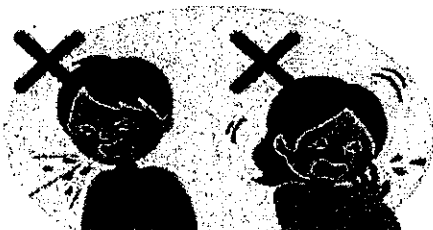
ポイント

- ・手洗いの前に爪は短く切って、時計や指輪は外しておきましょう。
- ・30秒間かけて手を洗いましょう。
- ・石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なペーパータオルでよく拭き取って乾かしましょう。

②咳エチケット

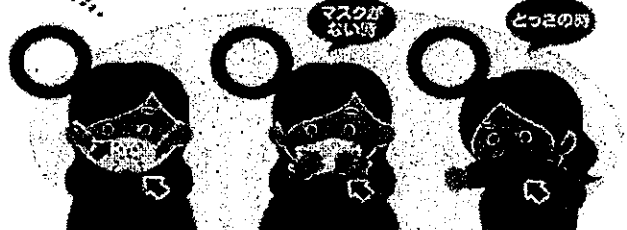
3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやる



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う

2 ゴムひもを耳にかける

3 隙間がないよう鼻まで覆う

<参考> 消毒液の作り方 (厚生労働省・経済産業省作成チラシから抜粋)

以下を参考に、市販の塩素系漂白剤(主成分が次亜塩素酸ナトリウムであるもの)を薄めてください。

・ハイター、キッチンハイター(花王)

水1Lに25mL(商品付属のキャップ1杯)

・ブリーチ、キッチンブリーチ(ミツエ)

水1Lに10mL(商品付属のキャップ1/2杯)

※商品によって濃度が異なりますので、商品パッケージやメーカーのHPの説明をご確認ください。